
出張授業のご案内

2026

杉野服飾大学では、高校在学中に大学の学びを体験できる出張授業を実施しています。貴校からのご依頼に基づき本学の教員を派遣いたしますので、貴校の授業の一環としてご活用ください。

その好きを、かなえます。



■ アドミッションポリシー

服飾学部アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

杉野服飾大学は、チャレンジ精神をもって、芸術性・技術力と文化的教養に基づいた想像力を養い、服飾分野の専門的な職業人として社会で自立する能力のある人材の育成を目指し、以下のような人物を受け入れます。

「学部の教育内容に強い関心と学習意欲をもっている人」

「優れた創造性や豊かな個性をもっている人」

「自己の認識や表現ができ、自己実現への意欲が高い人」

服飾学科の求める学力の3要素

▶ 知識、技能

- ・服飾を学ぶために必要な高校までに身につけておくべき基礎学力を備え、ものづくりやファッションビジネスへの興味関心がある。

▶ 思考力、判断力、表現力

- ・服飾の造形とビジネスについて求めることを自ら考え、それを実現するために必要なことを判断し、実現するとともにこれらのことを表現する力を有している。

▶ 主体性、多様性、協働性

- ・服飾の造形とビジネスについて自分の考えをしっかりと持ったうえで、自分とは違った立場や考え、発想を柔軟に取り入れて協力しながら物事を作り上げていく力を持っている。
- ・目的に向かい継続して研究、実践できる。

服飾表現学科の求める学力の3要素

▶ 知識、技能

- ・服飾表現を学ぶために必要な高校までに身につけておくべき基礎学力を備え、服飾を通して表現することに興味関心、探究心や行動力がある。

▶ 思考力、判断力、表現力

- ・舞台や映像メディアでの服飾表現や多様な社会生活における服飾表現、服飾業界のファッション表現など多様な服飾表現について考察し、必要なことを判断したうえで表現できる力を有している。

▶ 主体性、多様性、協働性

- ・自分とは異なる立場を尊重し、多様な人々の考えや発想を柔軟に取り入れて服飾の表現を高めることができる。

服飾文化学科の求める学力の3要素

▶ 知識、技能

- ・高等学校における教科科目についてしっかりと学び、服飾文化の創造と発信について学ぶための基礎的な知識や理解力を身につけている。

▶ 思考力、判断力、表現力

- ・服飾文化をめぐる諸課題について考え自分の意見を表現できる力を有している。

▶ 主体性、多様性、協働性

- ・現代社会の服飾をめぐる諸課題、および異なる国・地域や時代の文化に対して好奇心・関心を有し、それを大学での学修を通して追求したいという意欲を持っている。
- ・さまざまな考え方もつと人と交流し、多様性のある服飾文化の持続的発展に貢献したいと考えている。

- ファッションデザイン・造形 ■パターン ■色彩 ■ファッションイラスト
- ファッションビジネス・ファッション論・メディア ■一般教養など

[1] 1950年代のオートクチュール

講義形式 安部 智子 (担当：モードクリエーション等)

■内容

「オートクチュール」とは「高級仕立て服」とも訳される服のことを指します。では、私たちが現在着ている服とどこが一緒で、どこが違うのでしょうか？1950年代のディオールの服を題材に学びます。

■使用道具など

スクリーン、プロジェクター（パワーポイントを使用）

[2] アップサイクル小物作り

体験形式 井口 多恵子 (担当：リ・ファッション実習等)

■内容

デニム生地の布端の「みみ」を使って、花のプローチを作ります。包装用のリボンなどでも応用できます。

■使用道具など

<人数> 10名くらい

細いワイヤーを切るのので、ペンチをご用意ください。プロジェクター、スクリーン、（あれば書画機）

[3] 立体造形を作る

体験形式 川中子 貴雄 (担当：服飾造形基礎等)

■内容

ストローを使った幾何学模様のヒンメリを制作します。線を立体にしていくテクニックをご紹介します。

■使用道具など

はさみ

[4] オリジナルスカートを企画してみよう

体験形式 川中子 貴雄 (担当：服飾造形基礎等)

■内容

生地サンプルを見て触り、ターゲットに合ったスカートを企画します。（最大15名）

■使用道具など

筆記用具

[5] 基礎から学ぶ！ギャザースカート制作と布の扱い方

講義 / 体験形式 笹部 小百合 (担当：インダストリアルパターン等)

■内容

①講義：生地から裁断から縫製まで、ギャザースカート制作の基本工程を分かりやすく解説します（45分）。

②実習：待ち針の打ち方やギャザーの寄せ方、ギャザー部分のミシンのかけ方など、基礎的な縫製技術を体験します（45分）。布の変化や分量感を実感しながら、ファッションの仕組みや表現の面白さを学びます。初めての生徒にも理解しやすい内容です。

ファッション分野の基礎理解を深め、進路選択にもつながる内容です。 ※講義のみの実施も可能

■使用道具など

洋裁用具（まち針・小ばさみ） 筆記用具

パソコンから繋ぐプロジェクター、スクリーン、HDMIケーブル 実習でアイロンやミシンも使用する場合はミシンとボビンと糸

- ファッションデザイン・造形 ■パターン ■色彩 ■ファッションイラスト
■ファッションビジネス・ファッション論・メディア ■一般教養など

[6] オリジナル生地制作

体験形式 山川 智子 (担当：ニットイング、3D テキスタイル等)

■内容

羊毛繊維の性質を活かし、ウール生地に毛糸を使用して模様を描いてオリジナル生地制作を行います。

■使用道具など

ハサミ、スチームアイロン、アイロン台

[7] コンピュータ編機でつくられる編地

講義形式 山川 智子 (担当：ニットイング、3D テキスタイル等)

■内容

コンピュータ編機を使用して作られるニット生地に注目して、編地を見ながらどのような特徴のある生地かを解説します。
(島精機製作所の編機を所有の学校であればシステムと編地の関係の解説も可能です)

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[8] 刺繍の楽しさを知る

体験形式 設水 彩加 (担当：モードクリエーション、装飾技法等)

■内容

刺繍は素材や刺し方によって様々な種類があります。基本的な刺繍やステッチの方法を学びながらモチーフを制作します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン、洋裁用具 (裁ちばさみ、糸切ばさみ)、小さなケース

[9] デザインの二面性

講義形式 白木 ゆみ香 (担当：モードデザイン、3D CAD プロダクト等)

■内容

～デザインへのアプローチ法～

実際に製品化されたものやモックアップを作成した作品などを紹介しながら、デザインする上で、どんなことを考えてデザインしているのか？どんな風にアプローチしていったらいいのか？等を自身の経験を踏まえて講義します。

■使用道具など

プロジェクター、スクリーン

[10] 革小物製作

体験形式 高橋 大夢 (担当：デジタルデザインワーク等)

■内容

ファッションプロダクトにおける皮革とは何かを学び、革を使用した小物の制作をします。

※家庭科室など作業台のある教室を希望します。(最大15名程度)

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン、筆記用具、可能であれば金槌 (木槌)

[11] 洋装と和装の違い

講義形式 高橋 芽衣 (担当：ファッション 3D モデリング等)

■内容

普段私たちが着ている洋服と、成人式や夏祭りでは着る振袖や浴衣などの着物。その違いを比較しながら紹介します。また、現代的な着物についても紹介します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン、作品を着せる為のボディ 1～2 体

[12] 造形と表現

体験形式 瀧川 美佐子 (担当：衣装デザイン等)

■内容

見慣れている漫画やイラストから、服飾のディテールとしてのリボンに注目し、実際に布で製作します。(最大 15 名程度)

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン、ハサミ、筆記用具、洋裁道具 (布が切れるハサミ、糸、縫い針など)

[13] フェルトをつくる

体験形式 田口 雅子 (担当：ダイニングテクニック、テキスタイルデザイン等)

■内容

ふわふわの羊毛を使ってフェルトを作ります。内容は時間や人数に応じて準備します。

※水道が使える環境が必要です。

■使用道具など

タオル、バケツ、アイロンなど一部高校側にご用意いただくものがあります。

[14] 型を彫ってステンシル

体験形式 田口 雅子 (担当：ダイニングテクニック、テキスタイルデザイン等)

■内容

型を使用した染色は日本の伝統技法です。ステンシルは簡単なプリント技法とも言えます。内容は時間や人数に応じて準備します。

※水道が使える環境が必要です。

■使用道具など

タオル、新聞、水バケツ、アイロンなど一部高校側にご用意いただくものがあります。

[15] ポーチづくり

体験形式 田原 美津子 (担当：服飾造形基礎等)

■内容

直線ミシン縫いで出来るポーチです。アクセサリ、イヤホン、USB などの小物を入れるポーチ作りを行います。

■使用道具など

ミシン、ミシン糸、ボビン (ミシンが使える状態)、生地は準備しますが、手持ちのお気に入りの生地や残布 (30 c m × 18 c 程度) があれば、それを使用することができます。参加人数は 10 名まで。

[16] パンツの前あきの仕組みについて

体験形式 中村 枝里子 (担当：モードクリエイション等)

■内容

パンツの前あき（ファスナー部分）を紙で作り、仕組みを理解します。

■使用道具など

ハサミ、ホチキス、ホチキスの芯、定規、書画装置、スクリーン

[17] 様々な装飾技法について学ぶ

講義形式 中村 枝里子 (担当：モードクリエイション等)

■内容

服飾造形に用いられる装飾技法について、サンプルや実物作品を用いながら講義を行います。

■使用道具など

作品を着せる為のボディ1～2体、パソコン、スクリーン、書画装置

[18] ファッションとプロダクトデザイン

体験形式 肉丸 美香子 (担当：ファッションプロダクトデザイン等)

■内容

バッグ・シューズ・アクセサリ・帽子等のデザイン開発について学びます。簡単なグッズを制作します。※作業台のある教室を希望します。

■使用道具など

筆記用具

[19] かぎ針編みで花のモチーフを作る

体験形式 野中 知世 (担当：モードクリエイション等)

■内容

かぎ針を使用して花のモチーフを作ります。その他違う編み方で作った花のモチーフサンプルも紹介します。(15名程度)

■使用道具など

はさみ(その他の材料や道具はこちらで用意します)

[20] いろいろな編み物を知ろう

講義形式 野中 知世 (担当：モードクリエイション等)

■内容

服や小物などを作ることができる編み物にはさまざまな種類があります。素材・道具・編み方などをサンプルや作品を用いながら紹介します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン、(可能であれば作品を着せるボディ1～2体)

[21] 5W1Hを意識した衣装デザインについて

講義形式 満喜 朋美 (担当：服飾造形基礎等)

■内容

舞台や映画、ドラマなどで使用されている“衣装”には着用するキャラクター、物語が不可欠です。どのようにデザインを生み出すか、深堀するかを考察します。

■使用道具など

パソコン・プロジェクター・筆記用具・色鉛筆・A4サイズの白紙 (1人2～3枚)

[22] 自分に似合う服探し

講義形式 水野 真由美 (担当：服飾造形基礎等)

■内容

自分の顔の輪郭の捉え方を実際に確かめて、衿による顔の表情の違いを知ることで自分に似合う服を探します。

■使用道具など

特になし

[23] 平面から立体へのテクニック

講義形式 水野 真由美 (担当：服飾造形基礎等)

■内容

一枚の布からどのように服ができるのかを学びます。服のアレンジも合わせて紹介していきます。

■使用道具など

特になし

[24] コーディネートマップを作る

体験形式 宮澤 光与 (担当：服飾造形基礎、レプリカ製作等)

■内容

設定したターゲットに合わせたコーディネート、ファッションテイスト別にコラージュして1枚のボードにまとめます。

■使用道具など

切り抜いても良いファッション雑誌、はさみ、のり

[25] ニードルフェルティング

体験形式 宮澤 光与 (担当：服飾造形基礎、レプリカ製作等)

■内容

羊毛とフェルトを作るための専用の針を使って小物を作ります。

■使用道具など

羊毛など本学で用意します。

- ファッションデザイン・造形 ■パターン ■色彩 ■ファッションイラスト
■ファッションビジネス・ファッション論・メディア ■一般教養など

[26] リボンで花を作る

体験形式 宮澤 光与 (担当：服飾造形基礎、レプリカ製作 等)

■内容

コサージュにしたり、ドレスの装飾としても使えるような花をリボンを使って作ります。

■使用道具など

洋裁道具(糸、縫い針、まち針、小ばさみ)

[27] 服の形を観察しよう

講義形式 井口 多恵子 (担当：リ・ファッション実習 等)

■内容

種類の違うスカート(タイトスカート、フレアスカート、ギャザースカート)をボディに着せて、ボディと服の距離感、シルエット、パターンとの関係を観察します。

■使用道具など

プロジェクター、スクリーン、ボディ2体

[28] 生地を創造的に再利用！ドールサイズのワンピース製図とアップサイクル体験

体験形式 笹部 小百合 (担当：インダストリアルパターン 等)

■内容

タイトシルエットワンピースの基本製図をもとに、Aラインワンピースへの展開方法を学び、型紙づくりを体験します。その後、持参した生地を用いて裁断・手縫いを行い、ドールサイズのワンピースを制作します。ファッションにおける「アップサイクル(再利用)」の考え方にも触れ、ものづくりと環境配慮の関係について理解を深めます。初めて服づくりに触れる生徒でも取り組める内容です。また、ファッション分野の学びや仕事にも簡単に触れ、進路選択の一助となる内容です。※解説+実習(90分) / 解説のみ(45分)も対応可能

■使用道具など

洋裁用具(糸、裁ちばさみ、小ばさみ、縫い針、マチ針) 紙切りはさみ パソコンから繋ぐプロジェクター、スクリーン、HDMIケーブル
※端切れや古着の生地(30cm×25cmくらいを2枚)、不要な釦やリボンなどを持って来てください。

[29] ダーツの展開方法について

体験形式 設水 彩加 (担当：モードクリエイション、装飾技法 等)

■内容

ダーツは平面のものを立体的に仕立てるための方法の1つです。身頃原型を使用し、ダーツを展開することでデザインの一部へとどう変化していくのか体験しながら学びます。

■使用道具など

筆記用具、定規、紙切りばさみ、メンディングテープまたはセロハンテープ、パソコン、プロジェクター、スクリーン、

[30] ドレーピング(立体的裁断)のデモンストレーション

講義形式 高橋 彩香 (担当：ドレーピング&パターンメイキング 等)

■内容

ドレーピングのデモンストレーションを行います。洋服の型紙を作成していく過程をご覧ください。

※デザインは時間によって応相談。

■使用道具など

アイロン(家庭用可)、ミシン(家庭用可)、ボディ(外側が布製で針が刺せるもの)、直角定規

[31] ドレーピング（立体的断）実習 ※受講条件有

体験形式 高橋 彩香 (担当：ドレーピング&パターンメイキング等)

■内容

型紙をつくる手法のドレーピング（立体的断）を体験します。※デザインは時間によって応相談。

条件：①実習時間が4時間以上ある。

②最低限、受講生2人につき1台ボディ（外側が布製の針が刺せるもの）を用意できる。

上記条件を満たす場合のみ申込みを受け付けます。

■使用道具など

アイロン、ボディ（最低限学生2人で1台+教員用1台※布製の針が刺せるもの）、シルクピン、裁ちばさみ、天竺

[32] スカートの形

体験形式 田原 美津子 (担当：服飾造形基礎等)

■内容

基本のタイトスカートの考え方、製図を学びます。基本スカート（タイトスカート）を元にセミタイトスカート、フレアスカートなどへ展開し、さらにプリーツスカートやギャザースカートへ展開を行います

■使用道具など

A3用紙、定規、筆記用具、カッター（または紙用のハサミ）、セロテープ（出来ればメンディングテープ）

[33] 服の設計—パターンと素材の関係—

講義形式 羽賀 友美 (担当：CAD&3D 演習等)

■内容

洋服（既製服）はどうやって作られているのか、パタンナーとはどんな仕事をするのかをお話します。パターンと素材の関係に焦点を当て、シルエットの変化や柄による見え方の違いをご紹介します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[34] 工業用パターンについて（CADパターンメイキング）

体験形式 羽賀 友美 (担当：CAD&3D 演習等)

■内容

洋服（既製服）はどうやって作られているのか、パタンナーとはどんな仕事をするのかをお話します。また、アパレルCADを使って実際にパターン作成の仕方を学びます。

■使用道具など

アパレルCAD（東レACS/クリアコンボIもしくはII）、パソコン、プロジェクター、スクリーン

[35] 色彩とデザイン

体験形式 桐山 征士 (担当：基礎デザイン、色彩演習等)

■内容

配色は見た目として美しいかどうかは重要ですが、理論は無視できません。理論の無い色づきは主観的になりすぎ、表現の幅を狭くしてしまうことがあります。美しい配色ができるようになるためには経験が不可欠ですが、理論を上手に取り入れることで客観性を維持でき、自分の好みに偏ることなく適切な配色が可能となります。この講義では実習を通して「ファッションの様々なテイスト」の配色を学びます。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、のり、はさみ、定規（小さくて可）、筆記用具

[36] 自分のオリジナルステッカーを考える —色彩が人に与えるイメージについて

体験形式 田邊 風 (担当：ドローイング等)

■内容

駅の広告、店の看板、お菓子のパッケージなど、私たちの身の回りにある商品・広告には沢山の色が使われていますが、それらの色一つ一つに作り手が込めた意図や伝えたいイメージが隠されています。この授業では自分のオリジナルステッカーを作る実習を通して、色彩が人に与えるイメージや効果について学びます。

■使用道具など

ラベルシール、幅広の opp テープ、筆記用具、マーカー・色鉛筆等の着彩道具、はさみ、定規

[37] 色彩の心理的効果をファッションに生かす

体験形式 水越 綾 (担当：情報演習、ビジネスプレゼンテーション技法等)

■内容

私たちは物を見るとき、形だけでなく、まず色から大きな印象を受け取っています。ファッションにおいても、色はデザインや雰囲気を左右する重要な要素です。本授業では、色が人に与える心理的な効果やイメージについて学び、その意味を理解したうえで、ファッションにどのように生かすことができるかを考えます。前半は講義、後半は演習を通して、色を単なる見た目としてではなく、印象や表現意図と結びつけて捉える視点を養います。※講義は JIS 対応／修正マンセルカラーシステムを用いて行いますが、PCCS でも対応可能です。その際は早めにお知らせください。※課題は事前に高校の先生へデジタルデータでお送りしますので、生徒の皆様が個人のタブレット等で確認できるようご準備をお願いいたします。(最大 20 名程度)

■使用道具など

<生徒に準備頂きたいもの> 筆記用具、個人所有のタブレット <高校で準備頂きたいもの> プロジェクター、PC 接続ケーブル、電源

[38] 商品企画における色彩計画

体験形式 水越 綾 (担当：情報演習、ビジネスプレゼンテーション技法等)

■内容

本授業では、色彩に関する知識に加え、社会的状況、過去の動向、市場の状況などを多面的に捉え、それらを創造的な発想へと結びつける視点を学びます。前半では、配色の基礎的なルールと商品企画における色彩計画のプロセスについて講義し、後半ではグループワークを通して実際に色彩計画を体験していただきます。色を感覚だけで選ぶのではなく、情報をもとに考え、それを企画へとつなげる力を養う内容であり、探究的な学びにもつながる授業です。※講義は JIS 対応／修正マンセルカラーシステムを用いて実施予定ですが、PCCS にも対応可能です。ご希望の場合は事前にお知らせください。※課題は事前にデジタルデータでお送りしますので、生徒の皆様が各自のタブレット端末等で確認できるようご準備をお願いいたします。(最大 20 名程度)

■使用道具など

<生徒に準備頂きたいもの> 筆記用具、個人所有のタブレット <高校で準備頂きたいもの> プロジェクター、PC 接続ケーブル、電源

[39] ファッション画を描いてみよう

体験形式 数井 靖子 (担当：ファッション画、スタイリング演習等)

■内容

ファッション画は衣服デザインを考えるためのイラストです。初心者でも描ける方法で制作します。経験者にはコンテスト応募に向けた内容にアレンジも可能ですのでご相談ください。(最大 40 名程度)

■使用道具など

筆記用具、あれば書画カメラ

[40] はじめてのファッション画—デザイナー気分でファッション画を描こう—

体験形式 白木 ゆみ香 (担当：モードデザイン、3D CAD プロダクト等)

■内容

ファッションデザイン画やハンガーイラストを手際よく描くコツを習得します。

■使用道具など

鉛筆 (HB 以上)、消しゴム

[41] 気分はファッションデザイナー!!

体験形式 肉丸 美香子 (担当：ファッションプロダクトデザイン等)

■内容

デザインのアプローチの方法を学びます。デザイナーの気分で服のデザインを考えてみましょう（表現方法等も含めて）。

■使用道具など

筆記用具、色鉛筆、クレヨン、マーカー等、着彩できるもの。

プロジェクター、スクリーン、HDMI ケーブル

[42] ドレスコード (dress code) について学ぼう

講義形式 井口 多恵子 (担当：リ・ファッション実習等)

■内容

さまざまなシーンに適した服装とはどのようなものか、服装のルールとなるドレスコードを学びます。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン、用意できればボディまたはハンガーラック（サンプルの服の着装用として）

[43] ドレスを着た鹿鳴館の女性たち—明治日本の国家的プロジェクトと女性たちの想い—

講義形式 梅谷 知世 (担当：日本服飾文化史、衣の伝統と現代等)

■内容

明治の洋装化を対等な外交関係確立に向けた「国家的プロジェクト」と捉え、外交の最前線に立った鹿鳴館の女性たちの主体的な役割と覚悟を紐解きます。単なる流行ではなく、ファッションの背後にある政治や社会、人々の精神性を多角的に読み解く視点を学びます。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[44] 衣生活におけるコーディネートについて

講義形式 数井 靖子 (担当：ファッション画、スタイリング演習等)

■内容

ファッションは、ただ服を着るだけではありません。スタイルや色の組み合わせ、流行の変化、そして環境との関わりまで、衣生活にはたくさんの視点があります。自分らしい「着る」を一緒に見つけてみませんか？

■使用道具など

プロジェクター、スクリーンやモニター、ケーブル

[45] ファッションに興味を持つ—洋服がお店に並ぶまで—

講義形式 川中子 貴雄 (担当：服飾造形基礎等)

■内容

洋服がお店に並ぶまでの過程、仕掛けをご紹介します。一枚の洋服が出来るまでの知識を深め、少しでもファッションに興味をもって頂きたいです。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン、ケーブル

■ファッションデザイン・造形 ■パターン ■色彩 ■ファッションイラスト
■ファッションビジネス・ファッション論・メディア ■一般教養など

[46] 体感する服飾文化－歴史衣装のレプリカを着る－

講義形式 菅野 ももこ (担当：服飾資料研究、服飾文化造形演習等)

■内容

ファッションの歴史を学ぶためには、様々な方法があります。この授業では、19世紀の女性の衣類の中でも「体を美しく見せる」ために必要とされた下着類のレプリカを着用し、ファッション史について楽しみながら理解を深めます。

■使用道具など

パソコン (パワーポイント)、プロジェクター、スクリーン

[47] 体感する服飾文化－民族衣装のレプリカを着る－

講義形式 菅野 ももこ (担当：服飾資料研究、服飾文化造形演習等)

■内容

世界各国、各地域には、その土地の気候や信仰にあわせて、多様な発展を遂げてきた衣装が存在します。この授業では、限られた素材を余すところなく使用し、自然から身を守り、各地域で異なる信仰の意識が反映された服の形や装飾表現について、レプリカ資料を用いながら理解を深めます。

■使用道具など

パソコン (パワーポイント)、プロジェクター、スクリーン

[48] 3DCG からアプローチするデザイン

講義形式 白木 ゆみ香 (担当：モードデザイン、3D CAD プロダクト等)

■内容

プロダクトデザインの業界では必要不可欠、当たり前ようになってきた3DCADの世界。一方、ファッション業界では中々浸透してこなかった3Dですが、アニメやゲームの世界の影響か、ここ数年で目覚ましい発展をしています。ではどんな事が出来て、どんな使い方があるのか？まだ試行錯誤の段階ではありますが、実際に商品開発の現場でもこんな風に使ってみた、などの事例も交えてお話出来たらと思います。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[49] 「歴史」から学ぶ未来のファッション－男性服・女性服からジェンダーレスファッションへ－

講義形式 鈴木 桜子 (担当：西洋服飾文化史、ファッション史等)

■内容

ファッションの常識が大きく変わろうとしています。女性はスカート、男性はズボン、というかつての当たり前からファッションの多様性が問われる時代に入っています。ジェンダーレスファッションが話題のいま、「歴史」からそのルーツをたどり、未来のファッションを考えていきます。

■使用道具など

パソコン (パワーポイント)、プロジェクター、スクリーン

[50] アートとファッション－名画に見るファッションの秘密－

講義形式 鈴木 桜子 (担当：西洋服飾文化史、ファッション史等)

■内容

一枚の絵画に描かれた「人」とその「服」。時代の美の表現者として画家たちが描いた服飾にスポットをあて、そこに秘められた意味と芸術表現を捉えながら、アートとファッションの関係を探っていきます。

■使用道具など

パソコン (パワーポイント)、プロジェクター、スクリーン

[51] ファッション業界の職種について — どのようなお仕事があるの? —

講義形式 五月女 由紀子 (担当: ファッションテック論等)

■内容

ファッション業界で私たち消費者が接点を持つのは店舗や EC という買い物をするとところがほとんどですが、実はその裏でたくさんのお仕事があります。ものづくりから販売までの職種と、そのためにどのような勉強をするのかをご紹介します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[52] ファッション EC と店舗の役割

講義形式 五月女 由紀子 (担当: ファッションテック論等)

■内容

ファッション業界では、コロナ禍以降 EC による販売が増加傾向にあります。スマートフォンで購入できるのは便利ですが、店舗に行って買い物をしたい人も多いです。どちらもファッション製品を買うためには必要です。未来の購買体験について学びます。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[53] 日本のファッション製品はどこで作られているの?

講義形式 五月女 由紀子 (担当: ファッションテック論等)

■内容

日本のファッション製品は 97% が海外で作られています。中国生産が大半ですが、最近では東南アジアやバングラデシュなどの生産が多くなっています。自分たちが着ている洋服がどこで作られているのかのグローバルな知識を深めます。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[54] メディアとファッション — 服飾表現の可能性 —

講義形式 千代崎 寛 (担当: 映像制作、ファッションエディトリアル等)

■内容

ファッションは衣服 (モノ) だけで成り立つものではありません。写真や映像などの視覚情報や舞台やショーなどの空間表現、スタイリングやショップのデザイン、バーチャルイメージに至るまで多種多様なメディア (媒体) によって伝えられ、人々がそれを受容することで形成されていくのではないのでしょうか。この講義では、そのイメージ表現の可能性と仕事について考察していきます。

■使用道具など

プロジェクターまたは大型モニター

※少人数 (コンパクトな会場) の場合であればプロジェクターなど持参することも可能

[55] ファッションフォトの変遷 — 写真とファッションの関係 —

講義形式 千代崎 寛 (担当: 映像制作、ファッションエディトリアル等)

■内容

ファッションは衣服 (モノ) だけで成り立つものではありません。写真や映像などの視覚情報や舞台やショーなどの空間表現、スタイリングやショップのデザイン、バーチャルイメージに至るまで多種多様なメディア (媒体) によって伝えられ、人々がそれを受容することで形成されていくのではないのでしょうか。この講義では、そのイメージ表現の可能性と仕事について考察していきます。

■使用道具など

プロジェクターまたは大型モニター

※少人数 (コンパクトな会場) の場合であればプロジェクターなど持参することも可能

- ファッションデザイン・造形 ■パターン ■色彩 ■ファッションイラスト
■ファッションビジネス・ファッション論・メディア ■一般教養など

[56] 平安時代の流行歌謡

講義形式 伊藤 高広 (担当：文章表現、文学等)

■内容

平安時代の後期に流行した「今様」という歌謡、そこに歌われた当時の最先端の風俗を、絵画資料などとともに紹介します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[57] 桃山時代の流行歌謡

講義形式 伊藤 高広 (担当：文章表現、文学等)

■内容

カブキ者と呼ばれる人たちに代表される江戸時代初期の風俗を、流行歌や絵画資料などとともに紹介します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[58] 洋画で学ぶファッション英語

講義形式 草場 千紘 (担当：英語等)

■内容

映画「The Devil Wears Prada」に登場するファッションや人物のやり取りを題材に、実際に使われる英語表現を学びます。セリフやシーンを手がかりに、「なぜその表現が使われるのか」「どのようなニュアンスが含まれているのか」を考察し、英語表現の幅を広げます。

■使用道具など

インターネット環境、プロジェクター、スクリーン

[59] ことばと身体表現—パフォーマンスの言語学—

講義形式 草場 千紘 (担当：英語等)

■内容

ダンスや演劇などのパフォーマンスにおいて「ことば」がどのように身体の動きや表現を方向づけるのかを考えます。指導やリハーサルで使用される表現に着目し、ことばと身体の相互作用を分析していきます。

■使用道具など

インターネット環境、プロジェクター、スクリーン

[60] 教員養成におけるマイクロティーチング

講義形式 白井 勝美 (担当：教育方法論、教育課程論等)

■内容

教員養成科目(教職課程)の中に「教育方法論」という授業があります。その演習内容に「マイクロティーチング」があります。計画を立てた後に、5分間ないし10分間の授業を実施します。90分間を想定しており、具体的には指導者が30分間説明を行い、生徒は30分間で授業を構想し、代表生徒2名が実施し、指導者がまとめを行います。(合計90分)

■使用道具など

画用紙(名表用)、マジック(参加者÷3)

[61] 人は「見た目」が大切って本当か?! — 外見心理学から人の無意識的情報を読み取る —

講義形式 手島 陽介 (担当: 心理学、教育心理学等)

■内容

「馬子にも衣装」ということわざがあります。それは、馬子のような身分の低い人でも羽織袴を着れば、立派に見えることから、どんな人間でも身なりを整えればそれなりに見えるという意味で使われています。では、本当に身なり(見た目)は重要なのでしょうか? 心理学的視点から、「見た目が他者に与える影響」について体験を通して探っていきます。

■使用道具など

プロジェクター、スクリーン (パワーポイントや映像を使用)

[62] ココロと身体の関係とは?! — 心理学的視点から健康を考える —

講義形式 手島 陽介 (担当: 心理学、教育心理学等)

■内容

心理学の視点から、「健康」ということについて考えていきます。現在のライフバランスや自分のストレスの度合いなどを客観的に見ていき、自己を発見するきっかけになって頂ければと思います。また、今後どのように改善していくか等、体験を通して学んでいきます。今後の生活に役立つきっかけになって頂ければと思います。

■使用道具など

プロジェクター、スクリーン (パワーポイントや映像を使用)

[63] おいしさを伝えるフードデザインと調理技術

体験形式 外川 恵 (担当: 食物学、食文化論等)

■内容

食品の色彩・組み合わせ・見せ方の設計による魅力の伝え方と食品を安全においしく仕上げる調理技術を学びます。実習ではサンドイッチを題材に、ターゲットに応じて設計し、おいしさと見た目の両立を探求・実現します。(最大20名、推奨16名)

■使用道具など

<生徒に準備頂きたいもの>エプロン、三角巾、マスク、手拭き (ハンドタオル等)

<高校で準備頂きたいもの>調理道具、食材料、本校でも実習可。食材料実費 (調理道具一式は貸出)

[64] イメージにとらわれない食事と体の整え方：自分に合う選び方と構成

講義形式 外川 恵 (担当: 食物学、食文化論等)

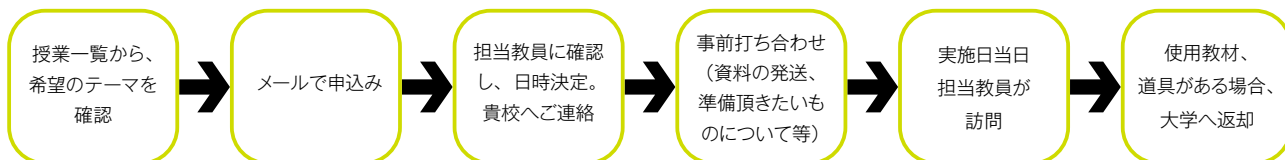
■内容

食事量や体型、調理の役割に関するジェンダーのイメージを見つめなおし、自分に適した食べ方と食事の整え方を考えます。一食の構成をデザインする活動を通して、日常に活かせる実践的な「自分らしい食のスタイル」を探っていきます。

■使用道具など

プロジェクター、スクリーン、資料 (ワークシート) の印刷

< 出張授業 実施までの流れ >



※高校1年生～3年生を対象といたします。

※1コマ45分～90分を目安としています。貴校の授業時間と異なる場合はご相談ください。

※スケジュールによりご希望の講座・教員でお引き受けできない場合がございます。

何卒ご了承くださいたくお願い申し上げます。

※出張授業に必要な経費は、本学の負担とさせていただきます。但し、使用道具の一部に高校様へご用意頂きたいものがある際はご相談させていただきます。

※出張授業一覧にあるテーマ以外の授業や本学施設内での体験授業、授業見学なども実施可能です。遠慮なくご相談ください。

< 申し込み方法 >

メールでお申し込みください。

【件名】に「出張授業希望」、【本文】に学校名、郵便番号、住所、連絡先電話番号、ご担当の先生氏名、希望講座名、受講する生徒様の学年、人数、希望日、希望時間をご記入の上、

入試広報課 出張授業担当宛（shinro@sugino.ac.jp）にお送りください。

※授業ご希望日の1か月前までにお申し込みください。

※ご希望日程は複数頂けますと、日程調整がスムーズです。

< 問い合わせ先 >

〒141-8652 東京都品川区上大崎 4-6-19

学校法人 杉野学園 入試広報課（出張授業担当）

電話：03-3491-8152（直通） MAIL：shinro@sugino.ac.jp